

2. その他の取組みの進捗

(1) 財務戦略

事業ポートフォリオ見直しの一環として、関空トレーディング(株)および(株)モトイの会社清算を完了した他、(株)ショクリューにおいて、子会社(株)タイゲンの事業を本体へ統合し、効率化を進めることを決議しました（実際の統合は 26/3 期になります）。中期経営計画でも注力している加工機能高度化に向け、マグロ等の加工事業を行う(株)ツナクラフトワークスを取得しました（2025 年 3 月末）。

政策保有株の計画的、継続的な縮減に取り組んでおり、25/3 期中に 3 銘柄を全部売却した他、その他の銘柄にかかる売却方針（保有銘柄のうち一部売却する具体的な売却銘柄と売却株数）を固めました（実際の売却処理は 26/3 期になります）。

配当方針を連結株主資本配当率（DOE）にもとづくものに変更しており、25 年 3 月 31 日を基準日とする配当について 97 円/株（DOE 1.6%を目途）としました。

グループ内の資金の効率的な運用を図るため、グループの資金調達を当社に一元化するとともに、キャッシュマネジメントシステム（CMS）の仕組みを導入しました。

(2) 人事戦略

グループとして整合性のある新しい人事制度（等級制度、評価制度等）や採用方法等の検討を行うため、当社および主要事業会社である(株)うおいち、(株)ショクリューの人事担当部署によるプロジェクトを立ち上げております。また、後継者育成計画にもとづき、グループの取締役・執行役員、部長層が各々対象の研修を実施しました。従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度を創設するとともに、グループ役職員を対象にした新団体定期保険に加入しました。

(3) システム戦略

基幹システムの再構築の取組みについては、(株)うおいち、(株)ショクリューとも、鋭意、開発を進めております。

(4) I R戦略

投資家等への事業内容・業績等のより分かりやすい説明を行うため、四半期決算にあわせて決算説明資料を作成し開示しております。

(5) 品質保証システムの構築

グループ共通の取組みとして、各社が品質保証活動計画の策定・実行に取り組んでおります。

また、従来各社ごとに運用してきたクレーム対応について、当社がグループ内のクレーム報告を一元的に収集し、分析、フィードバックする取組みを開始しました。本年度は、グループとしての実効性あるクレーム削減目標を持つべくさらに取組みを進めます。

(6) サステナビリティの取組み

グループとしてのマテリアリティ（重要課題）を特定しました。本年度は、マテリアリティにより想定されるさまざまなリスクと機会の把握につとめるとともに、その対応策の検討を深め、グループ全体でサステナビリティ対応を推進していきます。

その一環として気候変動にともなうリスクと機会を分析するため、温室効果ガス（GHG）の算定作業（Scope1 および 2）を本年度から開始しております。

以 上